

27

大分県
九重町
このえまちトキの里づくりに携わっています。
多様な自然は子育てにも最適です。

寺村 淳さん●31歳、真純さん●31歳

石川県より移住(真純さんは新潟県より) 移住歴: 4年

大 学では工学部だったんですが、生き物を中心とした地域づくりに携わりたいと考えていたところに、「九重ふるさと自然学校」が開校することを知ったんです。トキの里を大分につくるという100年プロジェクトに口マンを感じ、迷わず応募しました。

仕事では、子どもたちとの無農薬田んぼづくりや里山再生などの活動を通じて、トキ保護の啓発や次世代の担い手育成に携わっています。

オフタイムは、いろんなカタチ



↑陽里(あかり)ちゃんと。別荘を月5万(うち補助が1.5万)で借りている。

↑関節や冷え性に効果抜群の温泉。管理人の武石強さんとも顔なじみの間柄だ。



で自然と戯れている感じがですね。犬を連れて草原や湿原を散歩していると、野焼きの跡に新しい花が咲いていたりします。雪が降るとスキー板をかついで出かけます。近所の温泉に週1、2で浸かって疲れを癒しています。保温力が高いので、真冬でも長時間ポカポカなんです。

子どもができてからは、子育ての土地としてもここを見ようになりました。自然のバリエーションが豊富な九重は、子育てにも最適な環境だと確信しています。

→西川さんの有機野菜は購入可能。「ちろりん農園」
☎0898-75-3805



←現在ニワトリを250羽飼育している。卵は1日130個以上採れる。

→「毎日のように音楽を楽しんでいます」とウクレレを披露する則孝さん。



25

愛媛県
西条市
さいじょうし

農業、ウクレレ、俳句の三角形。したいことだけ、ずっとしてます。

西川則孝さん●57歳、文抄子さん●56歳
大阪府より移住 移住歴: 33年

小 学生のときから農業に憧れていました。大学卒業後にその夢をかなえようと、愛媛県西条市に移住しました。毎年、同じ野菜をつくっていると飽きるので、季節によって野菜やハーブの品目を変えてつくっています。

農業以外の楽しみは、ギターやウクレレを演奏すること、仲間と句会を楽しむことです。ウクレレやギターはタイやミャンマーなど東南アジアから来た研修生たちに弾いてあげると喜ぶんです。音楽は言葉が通じ

なくても交流を深めてくれるんです。俳句は農業をやりたいという人から教えてもらったんです。

私の人生といえば、農業と音楽、俳句のトライアングルです。妻はウクレレの代わりにトンボ玉づくりをしています。妻のつくった作品を見るのも楽しいです。

老後になつていたいことを始める人が多いんですが、私は自分のしたいことだけをやれているので、ずっと老後が続いている感じですね(笑)。

28

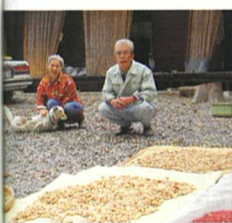
宮崎県
五ヶ瀬町
ごかせちょう

虫も雑草も少なく、名水が湧出。自然農法に最高の土地なんです。

小田潤子さん●71歳、節男さん●71歳
京都府より移住 移住歴: 12年

私 は、25年ほど前から京都で小規模な有機農法はしていたのですが、大病を患って現代医学に疑問を持ち、同時に食育の大切さに気がきました。それで、川口由一先生に出会って本格的な自然農法を学び、まとまった土地が必要になって田舎探しをはじめたんです。五ヶ瀬町に決めたのは、なんといつも地形、それから水でした。標高約650mなので虫も雑草も少なく、水はサンゴの石灰層と蛇紋岩層で自然濾過された平成の名水百選「妙見神水」

をふんだんに利用でき、私がイメージしている自然農法に最適でした。約30ア(3000平方m)の農地で、ニンジンや大豆やラッカセイなどのほか、これからはクリやソバといった雑穀に力を入れようと思っています。田舎で自然農法をしたい人には、まずキチンと勉強されることをお勧めします。それから地域に溶け込む努力も必要。私は、島根の八束農場で心構えを勉強していたからこそ、いい人に巡り会えて、土地を心よく使わせてもらうことができました。



↑自宅の庭には2匹の愛犬と1匹の猫が遊ぶ。手前は収穫したアズキと大豆。



↑西斜面の畑で育てた野菜はどれも糖度が非常に高く、生で食べると甘い。



↑貴重なオフタイムは、パワースポット巡りのほか、福岡に繰り出すことも。



↑農泊を営む江藤逸郎さん夫婦と夕食メニューの打合せ。自炊する暇をつくるのが大変。

26

大分県
宇佐市
うさしモノにこだわり過ぎなければ、
田舎はパラダイスですよ!

入交律歌さん●26歳

福岡県より移住 移住歴: 1年4カ月

農 大学の学生から、自分くらの世代に、農林業や農山村への関心をもっと持ってもらえたらって思っていて、その入り口としてグリーン・ツーリズムを研究していたんです。伝えるノウハウを得るために福岡の出版社に就職して、営業しにやって来た安心院(あじむ)グリーンツーリズム研究会にスカウトされて移住しました。グリーン・ツーリズム発祥の地だから、ノウハウを吸収するに最適なんです。

仕事といっても、例えば農泊を

受け入れている農家で打ち合せをするうちに「食べていきなさい」「泊まっていなさい」になって、親戚の娘的な扱いをされていることが多くて、オンとオフの区別がつかえません。「ウチの嫁に」とはまだ言われませんが(笑)。

収入は減りましたが、支出はもっと減りました。食べ物はいだくばっかりだし、この服だって地元の人のお下がりです。車は3万円で譲ってもらいました。田舎は、モノにこだわり過ぎなければパラダイスですよ。